

電子工学科			オペレーティングシステム				
学年	第5学年	担当教員名	山田 昌尚				
単位数・期間		1単位	前期	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		エンドユーザが使用するオペレーティングシステム(OS)にはWindowsが多いが、サーバ用途にはLinuxをはじめとするUnix系OSが多く利用されている。本科目ではLinuxを実用的に使いこなせるようになることを目標として、基本的なツールやシェル、ファイルシステム、ネットワーク、文書作成、プログラミングなどについて演習を行いながら学習する。					
		釧路高専目標	A:5%,C:70%,D:25%		JABEE目標	b,d-1-2,d-2-a	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		Linuxには無償のものが多くあるので、自分のコンピュータにインストールして動かしてみることを薦める。					
到達目標		Linuxの基本的な操作ができる。 LaTeXで文書を作成することができる。					
成績評価方法		合否判定:2回の定期試験の平均が60点以上 最終評価:2回の定期試験の平均±課題提出物20点、ただし最低は60点					
テキスト・参考書		教科書:「Linux演習」,前野 譲二ほか,オーム社					
メッセージ							
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
Linuxについて(1回) Linuxの基本的な使い方(2回) ネットワークの基本(1回) シェルとエディタ(2回) X-Windowシステムとグラフィックソフトウェア(1回)				Linuxの特徴を説明できる Linuxで基本的な操作ができる IPアドレスからネットワークの構成を理解できる シェルコマンドとエディタを使うことができる gnuplotでグラフを描くことができる			
前期中間試験				実施する			
LaTeX(3回) プログラミング開発環境(1回) ネットワーク通信(1回) シェルスクリプト(1回) 技術者倫理(1回)				LaTeXを使って文書作成ができる gcc, gdbを用いてプログラムの作成とデバッグができる ソケットを使った通信ができる 正規表現を用いてシェルスクリプトを書くことができる 技術者倫理について自分の考えを述べるができる			
前期期末試験				実施する			
後期中間試験							
後期期末試験							